



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部部報

第2号/2019-2020年度 BULLETIN

第2号/2020年1月発行

京都部部長主題	限界を超えろ！ Y's Power ? No Limit !	京都部部長 島田 博司 (京都ウエスト)
西日本区理事主題 副題	風となれ、ひかりとなれ こころ豊かにあるために、輝くために	西日本区理事 戸所 岩雄 (彦根シャトー)
国際会長主題 スローガン	Building today for a better tomorrow より良い明日のために今日を築く On the MOVE !! さあ動こう !!	国際会長 (IP) Jennifer Jones (オーストラリア)
アジア太平洋地域会長主題 スローガン	Action' アクション With Pride and Pleasure 誇りと喜びをもって	アジア地域会長 (AP) 田中 博之 (東京多摩みなみ)

第24代京都部部長 島田 博司 京都ウエストワイズメンズクラブ

限界を超えろ！ Y's Power ? No Limit



ちょうど京都部部報第1号の原稿を書き終えてから半年がたちました。長いようで短かったこの半年、さまざまな事業にご協力いただき、大変充実した半年でした。

今現在、17クラブの公式訪問を終え、京都部の各クラブの現状も見せていただきました。

また、各部の部会を回らせていただき、西日本区においての各部、そしてその中の京都部の現状、というものも見せていただき、いろいろと考えさせていただく機会も与えていただきました。

京都部部会でのクラブ会長のスピーチは大変有意義なもので、その時にクラブ会長が自分自身の想いやクラブの現状やこれから自クラブが目指すもの(決意)を真摯にお話ししていただけたクラブにおいてはこの半年で会員増強であったり、クラブの質の向上であったり、成果が出てき

ているのではないかと考えています。

あの時のクラブ会長のお話があったからこそ、私も真摯に京都部の事業に向き合い、今期ワイズデーにおいてのテーマである“ワイズを広報”するという課題に京都部役員の皆さんや、委員さんとともに取り組み、ある程度の成果を出せたのではないかと考えています。

そしてこれからの半年も、より一層の会員増強、広報、奉仕活動そしてYMCAの事業に協力し、クラブ間で、そしてメンバー同士の交流に力を注いでいきたいと思っています。

やはり新しいメンバーが増えるとクラブでの例会や事業も楽しくなりますし、活気も出てきます。今期は例年よりもハイペースで会員増強が進んでおり、まだ今期新入会員を獲得できていないクラブにおいては下半期にEMC活動に力を注いでいただきたいと思います。そして、今一度クラブの質を上げ、期末に退会者が出ないように、三役・委員長さんとクラブ内でお話ししていただきたいと思います。今期、京都部の皆さんのこの勢いをそのままに、中村次期部長にバトンを渡せるよう、今一度気を引き締めてまいります。どうぞ残り半年もよろしくお願いたします。



次期部長 中村 隆司

京都ウェルワイズメンズクラブ

次期部長の役職に就かせて頂き半年が過ぎました。7月の時点では「まだ1年あるわ～」と言う気持ちと「あと1年しかないわ～」と言う気持ちが半々で、余裕と焦りの狭間で日々準備をしておりましたが、残り半年となり「いよいよやな～」と言う気持ちと「あと半年しかないで～」に変化し、期待と焦りとが同居した状態で毎日奮闘しております。昨年の内に三役さんとは何度か懇親会や打ち合わせをさせて頂き、役員の方々とともに1度懇親会を開催させて頂き、各クラブの会長さんとは次期会長主査研修会の前に懇親会を開催させて頂く段取りとなっております。

また準備三役会や準備役員会も順調に進んでおり、三役、役員の方々に感謝申し上げます。そして方針にも記載させて頂きましたが、次期は「楽しむ事が一番」と言う事と「地球環境問題」を重視し、交流と環境をメインに考え、準備を進めております。部会やワイズデーにもその内容を反映させて頂こうと思っておりますので、皆さん楽しみにしておいて下さい。最後に、三役の方々に、役員の方々に、そして各クラブの会長様メンバー様、この素晴らしい仲間と共にワイズ活動をさせて頂ける環境に感謝申し上げます。



直前部長 川上 孝司

京都パレスワイズメンズクラブ

世界情勢の不穏の中先日イランでは、民間機に対する誤爆により170人もの尊い命が奪われました。私たちは例会に集い語り合い時には杯を交わし意見交換をする。この仲間が共に力を合わせ奉仕活動に取り組み行動することがいつか世界の平和に対する大きな力となることを信じています。一人一人の小さな活動が京都全体の物となり、日本全体の物となりそして世界に広がっていきます。私たちの活動の重要性は思うほど小さくありません。より多くの人と繋がり、より大きな輪にしていくことの重要性は日々感じています。

私たちは平和を愛し世界の平和を望んでいます。いつかの思いが世界の人々に届くことを信じ活動を続けていきます。今期行われたワイズデー「ギネスに挑戦」は、内容もさることながらワイズメンズクラブ京都部が作ったイベントに市民を巻き込み大きな輪を作る、という広報活動としては素晴らしい企画でした。

これもワイズの輪につながる大切な活動です。私達のワイズの輪づくりはこれからも続きます。



監 事 竹園 憲二

京都ZEROワイズメンズクラブ

今期も上半期を終えました。改めて監事としての役職について考えますと、何もお役に立っていなかったのではないかと自分自身に問いかけています。

何故なら、島田部長を始め三役の方々の部役員会での進行や内容を精査し適格にこなしておられるからです。役員会での監事講評をさせて頂く時はいつも悩みます。

私自身、思いが勝ち過ぎて誤った方向に進む事があります。其処でいろんな方向から、色んな方の意見を聞く事で今必要な方向を見出せる場に参加でき大変感謝しております。

部の役員会に参加させて頂けるのも、残すところ下半期のみです。部役員の方々と共に下半期も歩んでいきたいと思っておりますし、少しでもお役に立てる様努めたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



統括連絡主事 藤尾 実

京都YMCA

昨年7月に始まったワイズメンズクラブ京都部島田部長も上半期が過ぎました。日頃よりYMCAの諸活動にご支援、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

昨年、京都府より推薦を受け、内閣府より京都YMCAの活動二つが表彰されました。

「青い空と白い雲のキャンプ実行委員会」（病気の子どもたちとそのきょうだいのためのキャンプ）が、子供と家族・若者応援団表彰<子供・若者育成支援部門>（内閣特命担当大臣表彰）を、「聴覚障がい児プログラム研究会 マイ・マイ」が、チャイルド・ユースサポート賞<子供・若者育成支援部門>を受章しました。どちらの活動も、ワイズメンズクラブのみなさまの多大なご支援を受けて、長い年月、継続してきた活動で、子ども・家族・地域社会が育まれている活動であります。

京都YMCAは、今年、創立131周年をむかえます。これからも、YMCAのブランドスローガン「みつかる つながる よくなっていく」取り組みを、地域、そして世界が「よくなっていく」取り組みを、ワイズメンズクラブメンバーのみなさんと共にすすめてまいりたいと思っております。下半期もどうぞよろしくお願ひいたします。



部 役 員

書 記 塚本 勝己

京都ウエストワイズメンズクラブ



やはり、今期前半のメインは「ワイズデー」だと思います。皆さんはギネスに目が行きがちだと思いますが私が素晴らしく、流石ワイズメンだと思えた所は、活動されたクラブの多さだと思います。

企画運営からグローバルクラブ、キャピタルクラブに引っ張って行ってもらい、当日はトップスクラブ、洛中クラブ、ZEROクラブ、ウェルクラブ、プリンスクラブ、パレスクラブ、ウエストクラブとみんな一緒になって盛り上げたのは最高だったと思います。

私自身2度目の京都部となり、前回は竹園期でEMC主査をさせていただき、今期は島田期で書記をさせていただいております。この二人に共通して言える事は、自クラブだけではなく、ワイズメンズクラブをいかに盛り上げ、メンバーを増やし、多くの皆様にボランティア活動ができるかを真剣に考えているところだと思います。

後半期、その一翼を担える様に頑張っまいります。

書 記 牧野 万里子

京都ウエストワイズメンズクラブ



上半期には、各事業懇談会、部会、ワイズデー、YMCA活動など、多くの行事が開催されました。各行事を企画するうえで、皆さんと共に新しい取り組みにも挑戦いたしました。ギネスに挑戦企画では、一人を上回る記録更新と劇的な感動を共有することができました。一つ一つの行事を、京都部各クラブの皆様と共に創り上げていくことで、クラブ間の交流が深まっていくことを実感いたしました。

また西日本区がメンバー減少に悩まれている中、京都部は順調にメンバーが増加しております。これは各クラブがそれぞれの個性を發揮し、メンバーを増やすことに取り組んできた結果であると思います。上半期の活動は、「令和」という新しい時代にふさわしいスタートであったと思います。下半期も部長主題”限界を超えろ！Y'sPower? NoLimit!”を活動指針として、皆様と一丸となって色々なことにチャレンジしていきたいと考えております。

下半期もどうぞよろしく申し上げます。

会 計 安平 知史

京都ウエストワイズメンズクラブ



第24期京都部の島田部長期も半期が過ぎました。

会計としての各種請求など速やかにご協力いただき感謝しております。ありがとうございました。

第24期前半戦は京都部部会やたくさんのYMCA事業、そしてワイズデーと盛り沢山で濃厚なイベントが続きました。

島田部長の熱く思いのこもったリーダーシップの下で、京都部キャビネットのサポート、そして在京クラブの皆さんの絶大なる支援を受け無事に前半戦を終えることができました。ご協力ありがとうございました。

しかし、まだ後半戦も盛り沢山でございます。益々、島田部長は京都部の18クラブが更に盛り上がる様に熱くリーダーシップを發揮することになるでしょう！今期の部長方針は「限界をこえろ！」です。皆様！引き続き強力な支援を頂きます様、最後まで、どうぞ宜しくお願い致します。

事務局 長 角谷 多喜治

京都ウエストワイズメンズクラブ



先ずはこの半年間、在京各クラブの会長を始め役員の皆様、京都部から膨大なメール配信に対し、ご協力頂きましたことを感謝申し上げます。

事務局長の行うべきことは多数ございますが、先ずは京都部のワイズメンの皆様方への迅速な情報発信を最優先に考えて、その上で、各クラブの会長が1年間、充実したクラブライフを楽しんで頂けるよう努める…。

そして、京都部としてその情報元の核となる京都部島田部長及び三役の皆様の下、各主査・PR委員長の皆様が掲げられている「一年間の活動方針」を、できる限り円滑に実行出来るよう活動していくことを常に年頭に置き、精一杯楽しむ…。

京都部ワイズメンの皆様を支えられて、この半年間は京都部としての活動を行うことができました。

どうぞ皆様、残り半年間もご一緒に島田部長期を楽しみましょう！

一致団結 Cooperation is a strong force

YMCAサービス・ユース事業主査

北川 雅俊

京都ウイングワイズメンズクラブ



早いものであつという間に半期が過ぎて行きました。上期を振り返りますと、主査としての活動は4月のYサ事業懇談会で島田部長期のどの事業よりも早いスタートです。スタートに相応しく沢山の方々に参加頂き、パワーを頂きまして勢よく走り出すことができました。

さて、今期のYサ事業には大きく2つの課題がありました。

一つ目はサバエキャンプ場の問題です。何とか存続を目指して活性化できるように京都部各クラブのみなさまの協力を得て取り組んでまいりました。しかしながらとても残念な事にサバエキャンプ場はあと2年の利用期間を最後に70余年の歴史の幕を閉じることとなりました。本当に寂しく悲しいことでもあります。今後はYMCAのキャンプ事業発展について考えていかなければならないのかと深く感じております。

二つ目はYMCAチャリティーランについてですが、昨年より鴨川での利用規制強化にともない満足のいける事業ができなくなっておりました。島田部長からもチャリティーランを今までのような事業にしてほしいとの要請もありました。まだまだ進行形ではありますが、チャリティーラン実行委員会メンバーをはじめ色んな方々からの協力のもと、2020年度のチャリティーランは嵐山にて開催することで動き出しました。ここでは今までのように屋台の出店、抽選会等を運営することが可能です。初めての開催場所で一からのスタートとなり、やることは山積みのようにあります。チャリティーランを成功に導くには京都部のワイズの皆様の力添えが大切になります。

今期の主題に掲げておりますように「一致団結 Cooperation is a strong force」。京都部全体で一致団結してYMCAチャリティーランに取り組んでいけば必ず成功すると信じております。他にも下期にはまだまだ、沢山のYサ事業が残っております。引き続き皆様のご支援ご協力頂きますようお願い申し上げます。



未来につなげよう！！奉仕の輪

地域奉仕・環境事業主査

香山 章治

京都キャピタルワイズメンズクラブ



早いもので今期京都部地域奉仕・環境事業主査を拝命し半年が経ちました。

この半年の中での一番大きな事業はやはり「ワイズデー」ということとなります。約一年間の準備期間をとり、多くの時間を割いて事業の成功に向けて検討に検討を重ねました。各クラブ部長公式訪問随行においても各クラブにCS事業のあり方やクラブ間の協力、そしてSDGsの推奨、ワイズデーの意味等をアピールして参りました。京都部メンバーの多大なるご理解とご協力を持ちましてワイズデーは成功裏に終えられたのではないかと感じております。

そして、多くの市民の皆様様にワイズメンズクラブについて今まで以上に認知頂けたのではないかと感じております。

これからの半期は、京都部チャリティーボーリング大会を活気のある大会にし、少しでも多くの寄付金を京都YMCAに贈呈できればと思います。

又、2月はCS協調月間となっており、各献金のアピールをし、各クラブの要請があれば、SDGsの説明に出向いていきたいと思っております。

今期終了までしっかりとCS主査のお役目を果たしたく、京都部メンバーの皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。



楽しく仲間と共に！

EMC事業主査

山下 大輔

京都トップスワイズメンズクラブ

今期も早くも半年が過ぎまして、EMC事業主査と致しましては、色々なクラブの入会式に参加させて頂き本当に嬉しく思っております。

各クラブさんでは、メンバー増強への取り組み方がひしひしと伝わります。

どの様に、メンバーになってもらい、クラブライフが楽しく送れるかとかを各クラブさんで考えられてると思います。

僕もそのメンバーとして思うのが、やはり自クラブ愛の大切さ。

もっとも、自クラブ内でワイズライフを楽しめてるかでは無いのかな？と思っております。

では、どの様にして楽しむかは人それぞれ違いがあると思いますが、どの角度から見ても人と人との繋がり成り立つと考えております。

今後とも、人との出会い、繋がりを大切にクラブライフ楽しんで行きたいと思っております！

残り半期ですが、もっともっと京都部を盛り上げて行けるように頑張っていきますので、宜しくお願い致します。



繋げようワイズの輪を！ 広げようワイズ

国際・交流事業主査

竹山 直治



今期、国際・交流事業主査を任命されて早くも半年を終えました。

あっという間の半年に自分なりに何が出来て何が出来なかったかを改めて考えました。

任命早々の仙台でのアジア大会参加、事業主査としての懇親会と懇談会、そして無茶だと言われてもみんなで達成したワイズデーとギネスチャレンジ。

交流という名の元にはすべての事業に関係あると思ひ協力したつもりでしたが、結果全然出来てないうえに、色々な人に助けてもらった半年間だったと思います。

残り半年、国際・交流事業主査として何が出来てどんな協力出来るかを考え実行したいと思っております。



和顔愛語

メネット事業主査

岩本 敬子

京都ウエストワイズメンズクラブ



2019-20 京都部メネット事業主査として半年が過ぎました。まずは7月7日に西日本区メネット事業大野勉主任主催の主査研修会&相談会に参加しました。他部の部長様と主査様方々と、本音で語り合い交流を持てた事は有意義な時間でした。主査構成は、9部中メネット3名。6名はメンバー(女性メンバー含)です。そして、京都部をみると、メネット会長及び連絡員の構成は18クラブ中メネットが7名。11名がメンバーです。この状況が逆転する日を望みます。9月1日の京都部会の前に「メネット・女性メンバーの集い」を開催しました。事前に、5年後のメネット事業及び女性メンバーはどうなっているか?どうなってほしいか?のアンケートを募り、結果報告の場とし、デスクッションを持ち、参加者様から貴重な意見を頂きました。またメネットについて初めて知ることも。(デスクッションまとめは事業主任通信NO5に掲載)参加者はメネット15名女性メンバー25名コメント3名男性メンバー3名とメネットさんが少なかったことが残念でした。主査がメンバーであると、参加しにくいのでは?まずは、メネットさんの参加を増やすことが一番と思いました。後半期はベルマークの回収をお願いしております。そして主査主題「和顔愛語」を引き続き心掛けてまいります。優しい笑顔で参ります。皆様のご協力よろしくお願いたします。



その手、その汗、その思い。伝え広げよう。ワイズの輪

PR委員長

吉田 知弘

京都グローバルワイズメンズクラブ



私は、自クラブで三役経験も会長経験もなく京都部のPR委員長のお役をさせて頂きました。

なんと言っても私の最大の仕事は『ワイズデーの成功!!』香山CS主査との二人三脚でギネスチャレンジ運営の準備。公園

でのアピールブースイベントの企画など、参加者が楽しんでもらえる事、達成感を味わって貰える事を一生懸命考え、実行するための委員会を繰り返し行い、取り組んできました。

お陰様で大成功だったと思います。この半年間、ワイズデーに対して一心不乱に動いてきましたが、気がつけば今まで面識のなかったワイズメンとも沢山知り合いとなり、各クラブの例会にも出席することが出来ました。私のワイズ歴6年で得た知識の何倍もの知識を半年間で得させていただきました(笑)そして、何倍もワイズ活動が楽しくなりました!!! 残り半年も楽しんで活動し、京都部24期のPR委員長は吉田だったと記憶に残るPR活動をやりきりたいと考えています。

皆さま、引き続き宜しくお願い致します。



各クラブ会長

京都ワイズメンズクラブ 山本 晋吾 会長

会長主題 みんな仲間・楽しもう ~Let's enjoy all family~



7月に会長を就任し半年が過ぎました、京都クラブでは、三役・各委員長を中心にメンバーの皆さんに、一つ一つ教えて頂きながら会長職につけて、とても素晴らしいクラブです。

8月にリトセンでチャーム多文化キャンプの支援を行いました。参加者の方々に楽しんでいただくとともに、私たちメンバーも多くのことを学びました。

また、例会では、メンバーに楽しんでもらえるよう、今期は、クラブ初めての取り組みとして、オークション例会を行い、多くのメンバーと楽しみました。

会長として、いろいろなことをメンバーと話しながらやってきました。クラブの奉仕活動も前半に集中しており、会長としての任期もあと半期残っていますが、次期への課題もしっかりと申し送りして行きたいと思えます。

11月には新入会者を1人迎えることができ、2月にもう1人新入会者が決まっています。今後も、メンバーひとり一人に、声をかけながら、残り半年、会長主題「みんな仲間・楽しもう」を目指し、メンバーが楽しめるよう心がけて会長職を全うします。

京都パレスワイズメンズクラブ 藤松 幸一 会長

会長主題 新しい時代へ仲間と共に ~Open a new era together~



ようやく半期を迎え、あわただしく過ぎた半年間でした。期初からアジア太平洋地域大会で仙台へ行き、熱海クラブ・東京グリーンクラブ・マニラダウンタウンクラブとのクアドラングルの締結と大きな事業から始まり、11月には熱海クラブとの合同例会と遠方に出かける行事が多かったです。

メンバーの皆様には大変なご足労とご協力を得ながらお陰様で無事に各事業を終えることが出来ました。

そして例会では、メンバースピーチを増やし、普段聞けない内容でのスピーチや元パレスメンバーにお声かけし、多くの元メンバーの皆様が出席して下さった例会はすごく印象に残っています。

50周年記念事業の準備もスタートしていきます。下期もグローバルクラブ様との合同例会や台中エバグリーン様の45周年に出向き、その他恒例事業が目白押しです。気を抜くことなく最後まで突っ走りたいと思えます。

京都ウエストワイズメンズクラブ 吉川 忠 会長

会長主題 協調



ワイズメンの皆様いつもお世話になり有難うございます。今期40期京都ウエストワイズメンズクラブの会長を務めています、吉川です。

半期を振り返ってみる、

と、今期はアジア大会に始まり、島田部長を輩出しているクラブでもあるので、部会のホスト役さらにはワイズデーとさらに、支援している平安徳義会の130周年と、振り返る暇も無いほどに、次々と大きなイベントがやってきましたが、メンバーの一人一人の多大なる協力により、どれも大成功に終えることができました。

本当に言葉では言い表せない程のメンバーには感謝しかありません。さらには今期新しい仲間が4人入会していただき、さらにはまだまだ入会候補者がおられます。

あと残り半期は、この新しい風と共にベテラン中堅と力を合わせて何かを成し遂げたい想いです。

そしてメンバーの満足度をあげ、一步一步前に進みクラブ自体をメンバー全員で強くしていきたいです。

そして5月5日の記念例会では、メンバーはもちろん来てくださる方々たちと、最高の楽しく有意義な例会を開催したいです。

各クラブ会長

京都めいぶるワイズメンズクラブ 井上 耕造 会長

会長主題 つなごう、新しい世代へ ~まずは自分から始めよう~



めいぶるクラブ37期会長をスタートさせて頂き、半年間が過ぎました。7月サバエ開設ワークから始まり、納涼例会、京都部会、ワイズデー、ジャガイモ例会、YOU友フェスタ等々、様々な活動に参加させて頂きました。

その中でも私が印象的だったのはホテルオークラで行われた。京都部部会での各クラブの会長報告「5年後、10年後のクラブビジョン」でした。

今期前期も含め各クラブ全体の問題であります所の少子高齢化又、クラブ自体の存続の危機感の中、各クラブのメンバーが真剣に考え、知恵を絞り話し合いが持たれたいい機会だったと思います。我がめいぶるクラブでも35周年を迎えこれから40周年を迎えるにあたって、より一層クラブの結束を感じられた大切で、有意義な時間だったと思われまふ。又、ワイズデーでは鳥田京都部長の主題「限界をこえろ！」のもと、各クラブの会長が結束ワイズメンズクラブで一つになりONE TEAMなれた素晴らしい時間でした。新記録が受理された時は鳥肌がたちました。

今回、鳥田部長のもと素晴らしい企画に参加させて頂いた事に感謝致します。

下半期は今期2人目のニューメンバーを迎え40周年に向けて一歩ずつ前進しております。又、3月にはIBC台中長春クラブ35周年例会も控えておりクラブ一丸となって盛り上げて行きたいと思っております。

今後ともご協力の程宜しくお願い致します。

京都キャピタルワイズメンズクラブ 西川 欽一 会長

会長主題 大賢虎変 ~変革のとき。今、新たな時代でステップアップ!!~



毎年、時の過ぎるのはアツという間だと思っておりましたが、今年の上半期は例年より長く感じました。上半期を振り返ると、まず、京都部ワイズデーでのギネス世界記録の奇跡的な達成が印象に残っています。CS主査を輩出している我がキャピタルクラブは、クラブを挙げて取り組んだ結果、ワイズメンズクラブの活動を地域の皆様に広く知っていただくため、このワイズデーの成功に貢献することができたのではないかと考えております。

クラブ内では、YMCAのサポートや地域奉仕活動を中心に、各委員長が中心となって、それぞれ積極的に取り組んでいただき、クラブ活動の中心である例会も毎回とても充実した内容です。また、たくさんの方をお迎えしたEMCオープン例会も開催できました。

以前は、他クラブとの交流をあまり持っていなかった私ですが、今期は他クラブの方々と積極的に交流し、多くの気づきを得ることができました。その気づきを今後のワイズの活動で実践していきたいと思っております。

こうして振り返ると、色々刺激のある上半期であったから長く感じることもできたのだろうと思っております。下半期も刺激のある半期となるよう努力していこうと思っております。



京都プリンスワイズメンズクラブ 小野 敏明 会長

会長主題 守るために変えてゆこう、少しづつ ~Have a good sense of balance~



自らが主体性をもって積極的に参画する事をひとつの目標として始まった今期も上半期が終了。迫り来る事業やイベントにメンバー全員でしっかりと向き合えたのではと思う。恒例のサバエ開設ワークでキックオフした今期。参加メンバー全員が力を合わせて濃密なワーク。屋外で共にアセして結果を得た経験は、その後のメンバーシップにとって大きな礎になった。

前半の主な活動としては、有志による青い空と白い雲のキャンプへの支援、サバエ秋祭りへの屋台出店、リトリートセンターオータムフェスタへの屋台出店やファミリーキャンプの実施、子供シェルターののさんチャリティーゴルフコンペの開催など。逼迫する予算をマンパワーで補ってできる限りの協力があった。屋外でのインフォーマルな集いはメンバーシップの開発では欠かせない要素であり、今後も積極的な参画ができればと思う。ファンド事業では各クラブに応援して頂いたスイカファンドを含め、ぶどうファンド、年越しそばファンド、ジャガイモファンド一辺倒を打破するべく、色々なファンドを今期も実施。

今期クラブ運営方針としては基本【月2回のホテルでの例会】を軸にしっかりと据え、ホテルでの例会はフォーマルな例会とする。また、親睦は例会後のインフォーマルな懇親会や、屋外でのイベントやワーク、各委員会などで愉快地に図る。親しき仲にも礼節を重んじるメンバーシップの開発し、その親睦エネルギーを奉仕に変える事を目標に下半期も挑戦してまいります。

各クラブ会長

京都センチュリーワイズメンズクラブ 片山 吉章 会長

会長主題 CLUB LIFE with HEART ~将来に向けたクラブ作りを!~



今期の目標は何と言っても会員増強であります。今期の初めから、何とか新しいメンバー候補を呼べるような例会作りを心がけ、或いは新しいメンバー候補の方の講演会等を開くなど積極的に取り組んでまいりました。又、11月には、京都部の中でもメンバーの少ないクラブ5クラブによる合同例会が開催され、

その中で新入会員の入会式まで行う事が出来ました事は誠に大きな前進であり、他クラブへの励みとなりました。私共のクラブにおいては、メンバーの年齢も高齢化して

おりまして新入会員の獲得も大事な事ですが、現メンバーのドロップも防がなくてはなりません。

常に声掛けをして、表舞台に引っ張り込む事もクラブとして大事な事でもあります。何とか半年が経過した今、幸いな事にドロップは有りません。これからが正念場だと思っております。



京都ウイングワイズメンズクラブ 森本 頼和 会長

会長主題 COREになる時 それは今!!



我がウイングクラブは、今期(33期)は色々大変な1年となりそうです。

というのもCS委員長の中途辞任、中西ワイズの死去…。彼自身がクラブにとって影響力を持っていたのでクラブのメンバーは大きな悲しみにつつまれました。

又、ウイングクラブの看板事業である青い空と白い雲の実行委員長であったので急遽、北川ワイズが代行された。そしてサバエキャンプ

場の存続問題。

IBC事業では、IBCの締結先である金浦クラブからのキムチ漬けの中止。これらに対し、喜ぶべき事は、青い空と白い雲のキャンプ事業が京都新聞に取り上げられた事や、3人の新メンバーの入会である。

あと半期、クラブの調和と発展のために邁進していきたいと思う次第です。



京都浴中ワイズメンズクラブ 荒木 恒夫 会長

会長主題 心を繋ぐ ~人の心は言葉が運ぶ~



昭和に生まれ、平成・令和という三つの時代を生きる。約30余年前ワイズメンズクラブ入会時は日本区・京滋部が、区は東・西日本区へ、部は京都・びわこ部に分かれた。大きなうねり、元号の変化の中で見れば僅か半年の間で何をしたか? 年を重ね令和2年1月で年男の72歳、三度目の会長職で経験は充分。チャーター時のクラブ平均年齢は、余り若返ることなくほぼ30歳の増加。新しい事を始め皆に負担を掛けたくない思いからどうしても守りの態勢を取ってしまう。

期のスタートはサバエキャンプ場開設ワーク。例年通りアーチェリー練習場の整備、誰かが指示する事無くそれぞれが持ち場を考えて作業する。続いて仙台でのアジア地域大会に数名のメンバーが参加、台北大橋クラブ・富士五湖クラブとIBC・DBCの交流。8月はサポート施設の園児と花火大会そしてサバエキャンプ場で日帰りキャンプ。9月は2名のメンバーがDBCの富士五湖クラブ富士山例会へ。10月以降は、ワイズポテトの集配・ワイズデー・それとリトセンオートムフェスタに招待したサポート施設(つばさ園・ももの木学園)の園児達がクラブ対抗玉入れで入賞し沢山の賞品獲得。

守りに入り無難にこなしたのを是とするか非とするか?



第766回例会 リトセンオートムフェスタ 2019.11.17

第760回例会 つばさ園・ももの木学園サバエデーキャンプ 2019.8.31

各クラブ会長

京都エイブルワイズメンズクラブ 大橋 篤司 会長

会長主題 「令和」で心機一転、新しい風 ~自分がやらねば誰がやる！今をおいていつ出来る！~



「平成」から「令和」へと時代も移り代わる今期に「心機一転、新しい風を！」の会長主題でスタートしたエイブルクラブ、節目となる30期の最大の課題であるメンバー増強の目標を5名に設定しましたが半期を終える今日現在2名の増強にとどまっています。

2月15日に設立30周年の式典を控え何としても目標必達しようと頑張っているところですが増強のチャンスであるこの場に及んでもままならない歯がゆさがあります。前半期にはメンバー増強のチャンスが色々ありました。8月の納涼会、9月の京都部部会、リトセン準備ワーク、10月27日に実施されたワイズデー「ギネスに挑戦」！これは見事に新記録達成しましたが新記録919名のうち25名がエイブルクラブ関係者、1名の重みを思い知らされるイベントでした。又、11月の宇治福祉まつり

でのクラブのアピールとお餅つきのデモンストレーション、同じく11月21日の5クラブ合同例会、12月はEMCの忘年会と家族同伴の最大イベント・クリスマス例会・・・メンバーゲストをお呼びするチャンスは毎月のようにありましたが中々思うようにはなりません。しかし、諦めることなく目標必達に向けてメンバー全員で頑張りたいと思います！と言うのもやはり「数は力」をワイズポテトで思い知らされているからです。全盛期には20t車満載の2,000ケースのポテトを捌いていたエイブルクラブ、今期は660ケースを捌くのが精一杯。これでは事業資金の調達に苦勞するのが目に見えています。人・物・金、全てが不足しているエイブルクラブですが「やる気」「根性」だけは他クラブに引けを取らないと自負しております。



京都グローバルワイズメンズクラブ 森下 克己 会長

会長主題 NEXT STAGE ~まずはやってみよう!!~



27期の今期は次の周年（30年）を見据えたとても重要な期であると考えクラブ一丸となって各事業委員会・例会をより充実したものにしメンバーの満足感をより一層高めていくことを最重要課題として取り組んでおります。6月30日のリトセン夏季準備ワークから今期がスタートしました。25名ものメンバーに参加を頂き最高の船出となりました。

7月第一例会で8名の新メンバー入会。島田京都部部長、牧野EMC主任、山下EMC主査にもご出席いただき新メンバーにワイズバッチを装着して頂く特別な入会式を執り行うことが出来ました。これを機にクラブ全体が非常に盛り上がり行ったと思います。

8月第二例会部長公式訪問において、島田京都部部長よりワイズデーに込める思いをお話し頂き”一致団結こそが成功の秘訣”というお言葉に、クラブ内の意識が更に高まりました。9月第一例会京都部部会において”自クラブの5年先10年先の将来像についてのスピーチ”のお題を頂きメンバーの皆様にアンケートを取らせて頂きました。グローバルの長所・短所・目指すべき方向の再確認が出来とても有意義な部会となりました。

10月ワイズデーギネスチャレンジではとても貴重な経験をさせて頂きました。当クラブ所属吉田PR委員長を男にする・・・という一念でクラブ全体が非常に引き締まり、当日は1名増でのギネス成功に鳥肌が立ちました。

11月第一例会で4名の新メンバー入会。島田京都部部長、山下EMC主査にもお越し頂きお祝いのお言葉を頂戴しました。

京都みやびワイズメンズクラブ 武本 聡 会長

会長主題 BIG SMILE (ビッグスマイル) ~力を合わせて笑顔の連鎖反応~



今期のスタートは、京都YMCAサバエ開設ワークより始まりました。ワークはみやびの担当として定着している生垣の剪定です。中原ワイズ筆頭に4名のメンバーで作業開始、ノルマを達成し終えた頃には他クラブのメンバーは誰もいなくなりみやびのみとなっていました。定例会は、ホテルでキックオフ利酒例会。食事前に利酒（ビールの銘柄当て）を行い、ほろ酔い加減で今期の事業計画発表、方針等の説明がなされた。8月、定例会はホテルを離れ納涼会、先斗町の料理屋お座敷で開催、メネット・ゲストを迎えてお酒とごちそうを頂く。9月、視覚障害者施設洛西寮夏祭り屋台出店（焼き芝・かき氷他）今年で27回目となる。恒例の京都洛中クラブとの合同例会。今回はANAクラウンプラザホテル京都にて開催、部長公式訪問例会として

部長・主査の面々を迎え、スピーチをお聞きしました。10月、部の行事であるワイズデー（ギネスチャレンジ）を例会振替えとして参加、奇跡に等しい1名越えの記録更新で塗り替え！（みやびはメン・メネット7名そしてコメット+友人15名参加総勢22名）。11月、リトセンオータムフェスタに屋台出店（みたらし団子&わらび餅）そして、恒例となる奥谷ワイズ先生の和菓子教室開催（30名×3クール）。彼の、奉仕精神に感謝！。又、ホテル例会は3回目となる5クラブ合同EMC例会への参加（ホスト：京都センチュリークラブ）。12月、クリスマスロビーコンサートへの協力（ホーカユニット・JOYの出演協力）。定例会は、クリスマス例会の開催で前期終了となる。（報告：書記代行）



各クラブ会長

京都トップスワイズメンズクラブ 八木 薫史 会長

会長主題 真摯たれ紳士たれ ~ハメを外すもたまにはいいさ~



皆様、いかがお過ごしでしょうか？ 私は日々のワイズライフをなかなか楽しんでおります。一年前の今頃、次期会長としてクラブのメンバーに認められ、一クラブの会長としてのスタートを切った事を懐かしくも鮮明に覚えています。「何が出来なのか？」というよりも、「自分出来るのか？」という不安から始まりました。次期会長・主査研修会もほぼ知らない面々ばかりでしたが、そこはさすがのワイズメンズクラブ！！みなさんのお陰で楽しく過ごす事が出来ました。夜の懇親会からの二次会、忘れられない思い出になっております。そこから始まった会長期もあっという間に半年が過ぎ、アジア大会や、部会、京都部のみんなでギネスにも挑戦して成功しました。

自クラブでも、毎月の例会の中で、会長としてやりたかった事をどんどんやらせてもらい、協力してくれる三役はじめ、クラブメンバーに感謝しております。特に12月に第二例会として開催した少年野球大会は本当に感動的でした。

地域奉仕の一環としての活動である。と、西日本区にも認めて頂き3チーム、約60名、ご父兄まで含めると100名にも迫ろうかという人数で大変盛り上がりました。

まだまだ会長として力が足りないと自覚もしておりますが、残すところ半年、精一杯やりきりたいと思います。

京都トゥービーワイズメンズクラブ 村澤 功三 会長

会長主題 継続は力なり ~行動と継続にこそ未来がある~



期初に1年間のクラブ及び各事業委員会の方針と計画を立てスタートしました。最初は手探り状態でクラブ運営を進めてきましたが、早くも半期が過ぎました。

会長主題は、「クラブをボトムアップして力をつけ発展させること。」です。

半年間の成果は、とても厳しい状況です。残りの下半期どうすればよいのか？メンバー各自が楽しむことを全ての前提として、ワイズの行事に臨めるようにと思っています。

その結果、ポジティブな考え方に変わる。ポジティブな行動が生まれる。

その行動が継続できたら、会長主題に近づけられます。残りの半年間、主題を目指してトライしていきたいと思っています。

メンバーの皆さま、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。



京都東稜ワイズメンズクラブ 奥西 大輔 会長

会長主題 一致団結 ~全員の力でメンバー増強へ~



早いもので7月のキックオフから半年がたちました。

この半年間を振り返って一番印象深かったことと言えばやはりワイズデーです。東稜クラブでは当初ワイズデーに積極的に参加する姿勢ではありませんでした。

しかし他クラブの会長の方々を取り組む姿勢に刺激を受け、クラブメンバーの協力を得て何とか52名での参加という形ができました。ギネス記録も達成でき収穫の多い1日となりましたが、課題も見つかりました。38名のゲストの方々には十分な対応が出来なかったのがそのひとつです。

もしかするとワイズメンズクラブに対してあまりいい印象を持たずに帰られた方がいたかもしれません。

例会やイベントに参加いただいたゲストの方々はどうすればいいサポートが出来るか残りの半年間メンバーと話し合い、いい答えが出せればと思います。



各クラブ会長

京都ウェルワイズメンズクラブ 田栗 和典 会長

会長主題 Let's do the best that we can do now. ~今できることを全力で~



新しい時代「令和」の幕開けとともに京都ウェルワイズメンズクラブ第16期が始まりました。来期中村京都部部長期の準備期と位置付け、奥村実行委員長を先頭に部会の計画立案と同時進行する事業運営となっています。その中でもウェルのモットーとなった「クラブの活動を楽しむ」という流れが定着して、多忙な中でも一つひとつの事業を楽しみながら行えているのではないかと感じています。

Yサ事業においては、サバエワークに始まりソラシドキャンプ、サバエ秋祭りを通してメンバー同士の交流だけでなく、他クラブのメンバーとも交流が楽しめました。また、オータムフェスタではメネットやコメントの協力も得て、例年通りドテ煮の提供ができました。

CS事業のY's Dayでは、初めて高校生とコラボをし、ギネス記録に挑戦をしましたが、今後もこの高校生を使い、事業運営ができればと考えています。チャリティゴルフでは、過去最高の40名の参加を得て、収益も過去最高額を達成することができました。京都動物愛護センターの支援に一層拍車がかかったと感じています。

EMC事業においては、前半期に1名の入会があり、後半期に向けてさらに2名の入会予定となっています。新しい風を吹き込み、全員で勢いのあるクラブの運営に努めたいと考えています。

京都ZEROワイズメンズクラブ 坂口 バネッサ 会長

会長主題 スマイル! ~元気あふれるクラブ ~Did you smile today?~



会長となって最初の3か月間はワイズ関連の集まりやミーティングがあるたびに、私はとてもナーバスになりました。それは私の日本語力のなさ、こうした奉仕活動に対してなじみがなかったことが原因でした。会長になって以来、初めて経験することが多く、最初の3か月はいつも不安で緊張の連続で、次に何をしたらよいかいつも悩んで迷っていました。うまく会を運営することができないから自分の職務を投げ出してしまうのではないかと感じていました。でも三役や委員長の方々が、忍耐強く私を助け教えてくれないか一生懸命その職責を果たしている姿を見たり、メンバーが来る8月29日(土)の10周年記念例会開催にむけて熱心に活動している姿を見た時、そしてトップスクラブがフィリピンにワイズメンズクラブをチャーターしようとしていることを知った時に、私は突然罪悪感を感じ、会長で有り続けるようにと勇気づけられた思いがしました。

日本各地の部会や特に仙台で開催されたアジア区大会に参加したことで、世界中でどれ程多くのことをYMCAが行っているかを知り、このような奉仕活動をする組織に出会ったことは幸運だと思いました。

会長になって試行錯誤し苦しんだけれど、最終的には私は多くの成果を得ることができました。奉仕すること。そして同時に日本の言語、文化、慣習についてワイズを通して学ぶことができたことです。自身を変えることで、忍耐することや謙虚になることも学びました。この6か月間で学んだ多くのことを、私の家族、友人、そして仕事の上に生かしていくことができます。だから私はZEROクラブのみんなが私を会長とし、見放さずそばにいてくれたことに本当に感謝しています。ありがとう!みんな!

北京都フロンティアワイズメンズクラブ 平野 和也 会長

会長主題 地域愛さらに!! ~全員の力を結集~ ~Local love further~



2019年7月にキックオフをしてから、早くも半年が経ちました。新たな期を迎えるにあたり、三役、役員、メンバーで様々な準備をしました。前途多難な立ち上がりで、7月には早々に大きな事業が有りまして、福祉施設の方をお迎えして、「みなと舞鶴ちゃった祭り」の花火鑑賞。そして、舞鶴YMCAさんの卒業予定者への就職模擬面接の試験官。舞鶴学園さんの学園祭のお手伝いと、いきなり事業が有りましてがメンバーの皆さんのお力で無事に終える事が出来ました。

8月には4名の新入会員さんをお迎えしての、島田部長公式訪問例会。4名同時入会して頂けて大変盛り上がりしました。9月の京都部会への参加は、在籍メンバーの半分に満たない人数でしたが、新入会員を含め、参加頂いたメンバーは実り有る日となりました。

10月のワイズデーでは、北京都フロンティアとして導引協力は出来なかったものの、支援金でのご協力をさせて頂きました。更にはギネス記録更新とお聞きし、本当に良かったと思います。島田部長の掲げられています、「限界をこえろ”Y,s Power? NO Limit”」の達成に向け着々と進んでいると思います。また、北京都フロンティアとしましては「地域愛さらに~全員の力を結集~」を掲げ邁進しています。メンバー全員が参加出来なくても、お互いに助け合いの心を持ち半年を乗り切る事が出来ました。

残り半年も次期の事も見据えて、全員で頑張ります。

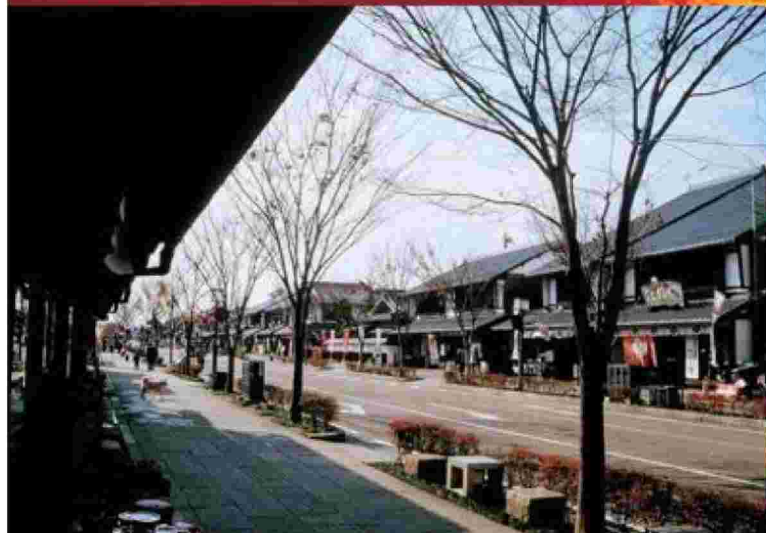
第23回 西日本区大会

ワイズメンズクラブ国際協会
by びわこ



こころ豊かに
風となれ ひかりとなれ

公開講演会
山折哲雄氏 (思想学者)
「日本人のこころと文化」



準備役員会
役員会
前夜祭
12日[金]

2020年
6月13日[土]

エキスカージョン
14日[日]

大会会場：びわ湖ホール
琵琶湖ホテル

ホストクラブ
近江八幡クラブ、彦根クラブ、彦根シャトークラブ
長浜クラブ、草津クラブ、滋賀蒲生野クラブ